

都市再生整備計画(第4回変更)

ゆばら
湯原地区

ぐんま 群馬県 まち みなかみ町

平成21年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1「やすらぎとふれあいの空間作り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉街を流れる利根川の四季折々の渓谷美を見ながら遊歩道を散策し観光客、地元の人、知らない人でも思わず言葉が弾む、遊歩道には2箇所ほど足休めの場所を設け温泉を引いて足湯に入ってもらう。 ・利根川線遊歩道の約半分については通過位置が複雑な状況から地元でのワークショップを何回か開催した中で、中心街を歩かせる仕掛けをすることで減とした。 ・落石のため閉鎖になっている諏訪峡遊歩道を特に景観のいい部分の整備をおこない開放に向けた。 ・忠霊塔公園については戦没者の慰霊という観点から湯原地区の中心地にありがら手をかけないで暗いイメージであったが、地元観光客を問わず明るい雰囲気での場所とした。 ・遊歩道の途中、湯原橋左岸に既存の老朽化したトイレが障壁になる事もとより、老朽化が甚だしく観光地のイメージを阻害しているので移設して今回のテーマの歩く人が使いやすいトイレを目指す。 ・遊歩道に交差する吊り橋は床板等も腐朽し、老朽化が甚だしく現在交通止めの状態である。遊歩道が突極することにより、当然お客様もこの吊り橋に立ち寄る可能性が大であるし、また整備することにより対岸への観光スポットの増強が期待されます。 ・上記吊橋の整備については大手旅館の所有物を寄付を受けて町道認定し整備をする予定であったが、旅館が民事再生に陥り時間等も要する状況なのでまち交期間内に処理が出来なく削除したい。 ・忠霊塔公園の整備についてはワークショップを撤回実施し、地域と煮詰めてまいりましたが現在既存の防火水槽がかなり昔に作ったものであり、老朽化も進んでいる上、能力的にも基準を満たしていないので、再構築したい。 ・忠霊塔公園においては現在少ない広場をゲートポールを行っている老人会等が優先して使っている。これは広範囲の方々に使って頂く姿の公園としては望ましくなく、ゲートポール用地を別の場所に設けそこに移設したい。 ・提案事業の地元まちづくり協議会支援については、お客様、地元ともふれあえる「まちやサロン」を空き店舗を使って構築していきたい。 <p>・鹿野沢地区の源泉所有者の権利を取得し遊歩道足湯及び駅前広場整備足湯に供給する。</p> <p>・事業計画年度当初より注意源泉所有者と協議してきたが、交渉が難航しまち交期間中には取得が無理と判断したため事業削除とした。</p> <p>・遊歩道足湯源泉浚渫については、浚渫すべき井戸が廃坑であり、温泉台帳への再搭載が困難であることから事業削除した。</p>	<p>道路事業、(基幹事業) 遊歩道</p> <p>減額</p> <p>道路事業(基幹事業)・諏訪峡遊歩道公園事業(基幹事業)</p> <p>遊歩道支障のトイレの移設・地域生活基盤施設(基幹事業)</p> <p>吊り橋の再構築(基幹事業・道路)</p> <p>事業削除</p> <p>防火水槽の再構築(基幹事業・地域生活基盤施設)</p> <p>ゲートポールの移設と移設先用地の購入(基幹事業・地域生活基盤施設)</p> <p>まちづくり活動推進事業 地元まちづくり協議会への支援(提案事業)を「まちやサロン」という形で構築</p> <p>源泉の引湯権取得(提案事業・地域創造支援事業)</p> <p>源泉の引湯権取得の削除</p> <p>浚渫の削除(提案事業・地域創造支援事業)</p>
<p>整備方針2「観光スポットの構築」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧水町町の玄関であるJR水上駅、現在は観光地の玄関とも思えないよう閑散としている。訪れた人が観光地に来たんだなって言うイメージの醸成し、お出迎えの心を施設にして構築する。 ・水上駅についてはJRの方で総合的に整備する予定があるので、まち交を使っての先行整備については手戻りを生じる可能性があるので削除したい。 ・駐車場については折角訪れてくれた観光客が迷ったり、駐車場が無くなり通っている状態である。展望台・遊歩道及び中心通りのチャレンジショップへの最短経路の場所に駐車場を配置し停留場の観光を目指す。 ・利根川河畔展望台については、ワークショップの結果近隣の旅館より高くなり、見下ろされる感覚とか、また旅館の大浴場等の防犯等無防備にさせてしまう可能性が大なので、地域からは懸念される意見が多く出され、廃止したい。 ・温泉街の駐車場に関しては、ワークショップを開催して最良の位置を決定した。利根川線ですこし奥まったところにあり進入路が必要であるので、町道認定道路として扱いたい。 ・提案事業で湯原温泉街に駐車場の必要性を検証するためにシャトルバスを使って社会実験を計画していたがこの計画を馬車を使って実践したい。 ・整備しようとしている駐車場には湯原地区の源泉地がある。温泉地ならではの情緒として源泉の湧出付近を観光スポットと位置づけ、現在老朽化が為に使用できないホテル(5階建)を取壊し温泉公園として整備していきたい。 ・上記公園作りについては地元ワークショップを開催した結果、整備費の増が見込まれるので計画を変更し増額したい。 ・エリアを拡大した諏訪峡遊歩道のメインスポットの笹苗橋付近については、左岸右岸とも当地で歌を詠んだ俳人たちの記念スポットとして公園整備をしていきたい。 	<p>高質空間形成施設(基幹事業)</p> <p>削除</p> <p>地域生活基盤施設(基幹事業)・駐車場</p> <p>高質空間形成施設(基幹事業)展望台については廃止、</p> <p>駐車場への進入路(町道)・道路事業(基幹事業)</p> <p>シャトルバス(当初)を馬車による同じルートの運行に変更。地域創造支援事業・社会実験・まち交期間中(提案事業)</p> <p>地域生活基盤施設(基幹事業)・公園 一 事業費の増額</p> <p>地域生活基盤施設(基幹事業)・公園</p>
<p>整備方針3「円滑な交通の確保」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道291号線から水上駅までの(主)沼田みなかみ線は一部幅員6m程度ですれ違いに難渋している。ここを改良する事により駅へスムーズなアクセスが可能になる。 ・(主)沼田みなかみ線については補償費のみとし計画事業費を減額したい。 ・水上駅から湯原地区に通じる(主)沼田みなかみ線は冬季消雪パイプの散水で歩行者については歩行に苦慮している。この部分を無散水消雪化することにより歩行者及び自転車の安全な交通確保が可能になる。 ・(主)沼田水上線は人家連単地区の必要な部分とし延長を半分とした。 ・町道忠霊塔広場線の改良については、湯原地区への国道からのメインエントランスである。しかし一部狭隘部があるために対向車待ちの状態でありタ方の観光客が到着する時間帯には大変トラブルが多く早期の解消が望まれる。 ・忠霊塔広場線については、当初拡幅改良の中に既存の消雪パイプの再構築を考えていたが、近年散水消雪パイプの凍結による問題から不評であり、変更し無散水消雪としたい。 ・湯原山入線については勾配がきつ冬季においてはほぼ交通不能になる。観光従事者も多く通っており無散水化は必要である。 ・湯原山入線についてはライニングコスト等考慮してポイラー式としたため工費の増額。 	<p>道路事業、(基幹事業) 県道の拡幅</p> <p>減額</p> <p>高質空間形成施設、(基幹事業) 県道の無散水</p> <p>減額</p> <p>道路事業、(基幹事業)</p> <p>消雪パイプから無散水消雪に変更・高質空間形成施設(基幹事業)</p> <p>新規地域創造支援事業の追加・(提案事業)</p> <p>増額</p>
<p>整備方針4「地元住人の安心感を創出」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食センターは昭和40年代に建てられたものであり老朽化が甚だしく、その方式は乾式が主流であり、当該施設は湿式の為に衛生上も好ましくなく保健所からは改善命令が出されている。その給食センターの建て替えを行いたいが、併せて地元産の作物(例えばヤーコンなど)の観光的な開発もかねてその施設に実験室等を作りたい。 ・平成17年10月にこの整備計画を立ち上げた旧水町は「みなかみ町」となった。合併の中で給食センターの建設については、深く協議された他の町村で保有している給食センターが能力規模業年も優位にあることから、運搬等に対応することがベストであると結論に達した。また地産地消の地場ものの研究開発についても、合併に伴って各町村の観光協会も一端解散したことから、新しい一本化になる観光協会へ方向性をゆだねる結果となった。ゆえに給食センターを削除したい。 	<p>新規提案事業の追加・地域創造支援事業(提案事業)</p> <p>削除</p>
その他	
<p>○住民意識喚起について</p> <p>地域においては相当の危機感を持っており町づくり協議会として「湯原再生委員会」を立ち上げた。地域の意識の熟成度も高く維持管理運営の面においても率先して考えていく旨の意志を発表している。一歩先んじて「ふれあい交流館」が単独で建設されているが、それによっても当地区のまちづくりに対する気持ちは高揚している。事業終了後も当地区がメディア等に大きく紹介されればおきまちづくりが発展する礎になると考えられる。このまちづくり事業期間において、地域だけで考えないで多方面から、まちづくりのプロフェッショナルなどの講師及び学生などにも参加してもらい新しい意識の中で進めていきたい。</p> <p>○事業期間中の計画の管理について</p> <p>まちづくり協議会「湯原再生委員会」の機関誌の発表、町においては町報への進捗の掲載。地域支援の中で継続して話を頂ける講師の先生を定めて、助言提案などを進めていく。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,170	交付限度額	468	国費率	0.4
---------	-------	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		町道忠霊塔広場線	みなかみ町	直	180m	16	18	16	18	97	97	97	97	97
道路		県道沼田水上線	みなかみ町	直	65m	17	20	17	20	24	24	24	24	24
道路		町道利根川緑線(遊歩道)	みなかみ町	直	500m	16	19	16	19	95	95	95	95	95
道路		町道下川原線	みなかみ町	直	157m	18	18	18	18	53	53	53	53	53
道路		町道諏訪峡線(遊歩道)	みなかみ町	直	160m	18	20	18	20	80	80	80	80	80
道路		町道東原線(笹笹橋)	みなかみ町	直	38m	18	20	18	20	100	100	100	100	100
公園		忠霊塔公園	みなかみ町	直	2422㎡	16	17	16	17	53	53	53	53	53
公園		水上峡温泉公園	みなかみ町	直	1800㎡	18	20	18	20	219	219	219	219	219
公園		諏訪峡歌碑公園	みなかみ町	直	2000㎡	18	20	18	20	52	52	52	52	52
地域生活基盤施設		駐車場整備	みなかみ町	直	1500㎡	16	20	16	20	25	25	25	25	25
地域生活基盤施設		忠霊塔公園(防火水槽)	みなかみ町	直	1式	17	17	17	17	5	5	5	5	5
地域生活基盤施設		忠霊塔公園(ケートボール用地)	みなかみ町	直	774㎡	17	17	17	17	2	2	2	2	2
地域生活基盤施設		町道利根川緑線(トイレ移設)	みなかみ町	直	1式	18	18	18	18	17	17	17	17	17
高質空間形成施設		駅前広場整備	みなかみ町	直	-	16	20	16	20	7	7	7	7	7
高質空間形成施設		県道沼田水上線	みなかみ町	直	185m	18	20	18	20	184	184	184	184	184
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人になやましいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業														
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,013	1,013	1,013	0	1,013

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造	町道の無散水化	湯原地区(湯原山入線)	みなかみ町			17	18	17	18	134	134	134	134	134
支援事業	社会実験(馬車)	湯原地区	みなかみ町			17	20	17	20	15	15	15	15	15
事業活用調査	事業効果分析	都市再整備区域	みなかみ町			19	20	19	20	3	3	3	3	3
まちづくり活動推進事業	まちづくり協議会支援	湯原地区	みなかみ町	直		16	17	16	17	5	5	5	5	5
合計										157	157	157	0	157

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いづれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
駐車場整備	湯原地区	みなかみ町	総務省	合併特例債			○		16	20	75
県道沼田水上線拡幅	湯原地区	みなかみ町	総務省	合併特例債			○		17	20	24
県道沼田水上線無散水消雪測量設計	湯原地区	みなかみ町	総務省	合併特例債			○		18	18	2
遊歩道足湯(供給用源泉新規掘削)	湯原地区	みなかみ町	総務省	合併特例債			○		19	20	45
合計											146

合計(A+B) 1,170

湯原地区(群馬県水上町大字湯原の一部、大字鹿野沢の一部) 整備方針概要図

目標	歩いて回れるまちづくり (JR水上駅から道の駅「水紀行館」までのネットワーク化)	代表的 な指標	駅乗降客(人/年)	130,830 (14年度) → 200,000 (20年度)
			道の駅「水紀行館」利用人数(人/年)	64,000 (14年度) → 100,000 (20年度)
			利根川縁遊歩道でのカウント(人/年)	0 (14年度) → 10,000 (20年度)

